



# 旭川市長と旭川市教育委員会教育長からのお祝いの言葉



開校50周年記念集会では、ご来賓としてご臨席賜り、本校の開校50周年をお祝いし、児童、保護者、地域の方々に向けてのお言葉をいただきましたのでご紹介いたします

## 祝 辞

大雪山連峰の実り豊かな樹々の表情に、秋の深まりを感じる、本日ここに、旭川市立緑が丘小学校が、めでたく開校50周年の記念すべき年を迎えられ、その記念集会が、多くの御来賓の方々をはじめ、地域の皆様の御臨席のもと、盛大に執り行われますことを、心からお祝い申し上げます。

本校の校区は、昭和45年に旭川市の神楽岡団地造成計画により発展した緑が丘地区を中心に、神楽岡、旭神地区に広がる比較的広い地域にわたっており、昭和49年に開校して以来、50年という長きにわたり、保護者や地域の方々の深い愛情に支えられながら教育活動を展開し、今日までに多くの優秀な人材を輩出してこられましたことに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、周辺環境は、街路樹や公園など自然に恵まれ、付近には旭川医科大学、旭川高等看護学院、旭川工業高等学校、旭川南高等学校、中小企業大学校、緑が丘中学校などがあり、本市を代表する文教地区として発展を続けており、本校においては、幼稚園から大学生など数多くの団体等が参加する丘の上ふれあい音楽祭や、プラタナス通りの落ち葉拾いなどの地域行事への参加、学校の周りの自然環境を活用した生活科・総合的な学習の時間の充実や地域の方を講師として招いた「茶道教室」の実施のほか、保護者や住民の方々による「読み聞かせ会」の開催など、地域を愛し、地域に愛され、地域と一体となった教育活動にも力を注がれております。

現在の学校教育には、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成に向け、地域の環境や人材等を効果的に生かしながら、教育活動の充実を図ることが大切になりますが、本校の取組は、まさに、今、求められている教育の在り方を具現化するものとして、旭川市長としても大変心強く感じているところです。

先ほど、アンサンブルクラブの演奏の下、全校児童による校歌斉唱を聴かせていただきました。皆さんの心のこもった歌声に、たいへん心を打たれました。そして、歌詞の一節が特に心に残りました。

2番の歌詞の、「歴史をきづく誓いをこめて」です。

この「歴史をきづく誓いをこめる」とはどのような意味でしょう。

私は、本日の50周年記念集会をはじめ、5月の運動会や今週土曜日に予定されている学習発表会などの取組について、より良いものを作ろうとする皆さんの真剣な取組や思いが新たな歴史を築いていくことにつながっていくものと思っております。

児童の皆さんには、素晴らしいふるさと・緑が丘地区への誇りと愛着をもちながら、多くの先輩方が創り上げてきた緑が丘小学校のよき伝統と校風をしっかりと受け継ぎ、大切な仲間とともに、今後も素晴らしい緑が丘小学校の歴史を築いていくことを心から期待しています。

結びになりますが、本校の発展を支えてこられました同窓生やPTA、地域の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、この50年を大きな節目として、地域と学校、保護者と教職員がより密接に連携し、今後ますます充実・発展されますことを御祈念申し上げます。私のお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和5年10月18日

旭川市長 今津 寛介

## 祝 辞

本日、ここに御来賓の方々をはじめ、本校の教育を支えていただいている皆様の御臨席のもと、開校50周年の記念集会が盛大に開催され、児童の皆さんと一緒にお祝いできますことを大変嬉しく思います。

本校は、昭和49年に児童数202名で開校後、一時期は最大で1600名を越える大規模校となり、その後、緑新小学校との分離を経るなど、昭和・平成・令和の長い歴史を重ねる中で、保護者の皆様はもとより地域の方々の御理解と御協力の下、全教職員が一丸となって教育活動の推進に力を尽くしてこられましたことに、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、グローバル化の進展やAIの飛躍的な進化など、社会が急速に変化する中、学校教育におきましては、将来の予測が難しい社会の中でも、将来を担う子どもたちに、広い視野を持ち、志高く未来を創り出し、豊かな人生を切り拓いていくために必要な資質・能力を育むことが求められております。

そのため、旭川市教育委員会では、子どもたちが、個々の夢や目標の実現に向けて未来へとはばたくことができるよう、旭川市学校教育計画等に基づき、子どもたちに未来を生き抜く力を育む教育の推進や子どもたちの学びの環境を整える取組等を進めております。

そうした中、本年度は、旭川市教育委員会で文部科学省の「リーディングDXスクール事業」の指定を受け、緑が丘中学校区の小中学校4校を指定校とし、本校においては、指定校の1つとして重要な役割を担っていただく中で、1人1台端末等を効果的に活用した教育実践を推進し、教育活動の充実に向けて取組を進めていただいております。今後、本校等の工夫された実践が市内全校に広く普及され、本市の子どもたちの成長につながることに期待を寄せているところです。

この記念の日に、緑が丘小学校に在籍する児童の皆さん。

本校が開校してからの50年間はもちろんのこと、みなさんが生まれた頃から今日までの間にも社会は人間の予測を超えた速さで変化しています。50年前は、私は小学校高学年ぐらいでしたが、その時に、50年後の社会が1人1台端末で授業をしたり、その端末等を使って世界中の情報をすぐに手に入れられるようになるとは全く想像できませんでした。皆さんが大人になる10年後、20年後、50年後は、どのような社会になっているのでしょうか。おそらく、私たちの想像を超えて、大きく変化しているものと思います。

しかし、今後の社会がどのように変化するとしても、様々な情報を基にして、じっくりと考えを深める力や他の人の人権を尊重する思いやりの心、困難に立ち向かい乗り越えようとする強い意志は、皆さんが社会の中でたくましく生きていくために大切になるものと思います。

児童の皆さんには、「考える子ども、豊かな子ども、強い子ども」になれるよう、大切な仲間と助け合い、励まし合い、高め合いながら、自分を成長させてほしいと願っていますし、そうすることがこの学校のすばらしい伝統をさらに発展させることにつながるものと思います。

結びになりますが、50年の長い間、同窓生、PTAの皆様、地域の方々や本校の教育に携わってこられました多くの教職員の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、緑が丘小学校が今後ますます発展されますことを御祈念申し上げます。私のお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。

令和5年10月18日

旭川市教育委員会教育長 野崎 幸宏